



平成 19 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル
 代表者名 代表取締役社長 大石 侑弘
 (コード番号 6755 東証・大証・名証各市場第一部)
 問合せ先 取締役法務部長 篠原 俊次
 TEL (044) - 861 - 7627

平成 20 年 3 月期 業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 7 月 27 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月中間期 業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

1) 連結

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 7 月 27 日発表)	113,000	3,400	1,800	800
今 回 修 正 (B)	111,738	3,988	2,678	1,001
増 減 額 (B - A)	1,262	588	878	201
増 減 率 (%)	1.1	17.3	48.8	25.1
(ご参考) 前期 (平成 18 年 9 月中間期) 実績	90,236	1,006	878	222

2) 単独

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 7 月 27 日発表)	95,000	1,300	600	700
今 回 修 正 (B)	95,999	1,643	1,530	609
増 減 額 (B - A)	999	343	930	91
増 減 率 (%)	1.1	26.4	155.0	13.0
(ご参考) 前期 (平成 18 年 9 月中間期) 実績	75,031	748	356	172

2. 平成 20 年 3 月期 業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

1) 連結

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 7 月 27 日発表)	224,000	9,000	5,500	2,500
今 回 修 正 予 想 (B)	228,000	9,600	6,400	2,700
増 減 額 (B - A)	4,000	600	900	200
増 減 率 (%)	1.8	6.7	16.4	8.0
(ご参考) 前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	189,279	4,251	3,462	863

2) 単独

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年7月27日発表)	187,000	3,600	2,200	1,200
今回修正予想(B)	188,000	4,000	3,100	1,200
増減額(B-A)	1,000	400	900	-
増減率(%)	0.5	11.1	40.9	-
(ご参考) 前期(平成19年3月期)実績	159,952	1,801	1,332	516

3. 修正の理由

当中間期の連結業績につきましては、海外向けエアコンの販売が好調に推移し、売上高は、ほぼ計画通りの1,117億3千8百万円(前回予想1,130億円)となりました。損益については、コストダウンや経費削減の取組みが7月時点の計画どおりに進捗したほか、ユーロ高等による為替差益の計上により、営業利益は39億8千8百万円(同34億円)、経常利益26億7千8百万円(同18億円)、中間純利益10億1百万円(同8億円)となりました。

当中間期の単独業績につきましては、売上高959億9千9百万円(前回予想950億円)、営業利益16億4千3百万円(同13億円)、経常利益15億3千万円(同6億円)となりました。なお、特別損失として欧州地域における映像機器の販売子会社の解散等による関係会社株式等評価損失を計上し、中間純利益は6億9百万円(同7億円)となりました。

通期の連結・単独の業績予想につきましては、下期においても海外向けエアコンを中心に引続き販売が順調に推移し、売上増を見込んでいるものの、素材価格の高止まりや原油高、為替変動等の影響によるコスト増に備え、下期業績予想は据え置いております。このため中間期の業績を踏まえ、上記のとおり修正いたします。

以 上